

## 平成 28 年度 事業 報告

「みんなの健康を守る」を理念とし、公益財団法人として県民の疾病予防と健康の保持増進に努めるべく各種健診・検査事業及び普及・啓発事業を積極的に推進した結果、平成 28 年度事業は、順調に推移した。

地域・職域保健分野において、33 団体を新規受託することができた。また、一昨年の 12 月より義務化されたストレスチェック検査について、2 万 7 千名余を実施し、職域保健分野における新規事業として当初の計画を上回る件数を受託することができた。

設備投資においては、新総合健診・検査システムと連携する健診検査機器を計画的に導入することで、より効率的で精度が高い健診検査を実施することが可能になった。平成 28 年度の協会の業務執行状況については、次のとおりである。

### I. 業務執行状況

#### 1 役員会等の開催

- 平成 28 年度 第1回理事会(平成 28 年 6 月 2 日)

決議事項／平成 27 年度事業報告、平成 27 年度収支決算、理事の任期満了に伴う選任候補者について、  
X 線検診車購入積立金について、理事及び監事の任期満了に伴う選任候補者について、  
平成 28 年度定時評議員会の開催

報告事項／代表理事、執行理事の業務報告事項

出席等／理事現在数 11 名、出席理事 9 名、欠席 2 名。監事出席 2 名。

---

- 平成 28 年度 第1回臨時評議員会(平成 28 年 6 月 2 日)

決議事項／評議員候補者の推薦

同意書／評議員現在数 10 名、書面提出評議員 10 名。

---

- 平成 28 年度 第1回評議員選定委員会(平成 28 年 6 月 20 日)

決議事項／任期満了に伴う評議員の選任

出席等／評議員選定委員現在数 5 名、出席評議員選定委員 5 名、欠席 2 名。理事出席 2 名。

---

- 平成 28 年度 定時評議員会(平成 28 年 6 月 23 日)

決議事項／平成 27 年度事業報告、平成 27 年度収支決算、任期満了に伴う理事及び監事の選任

報告事項／次期評議員の選任について(評議員選定委員会)

出席等／評議員現在数 10 名、出席評議員 8 名、欠席 2 名。監事出席 2 名。

---

- 平成 28 年度 第2回理事会(平成 28 年 7 月 4 日)

決議事項／代表理事、業務執行理事の選定、評議員選定委員会委員の選任について

同意書／理事現在数 10 名、書面提出理事 10 名。確認書／監事現在数 2 名、書面提出監事 2 名。

---

- 平成 28 年度 第3回理事会(平成 29 年 3 月 21 日)

決議事項／平成 29 年度事業計画案、平成 29 年度収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて、

報告事項／代表理事、執行理事の業務報告事項

出席等／理事現在数 10 名、出席理事 9 名、欠席 1 名。監事出席 2 名。

## 2 運営会議（毎月一回）の開催

平成 28 年 4 月 25 日、平成 28 年 5 月 23 日、平成 28 年 6 月 27 日、平成 28 年 7 月 25 日、平成 28 年 8 月 29 日、平成 28 年 9 月 26 日、平成 28 年 10 月 24 日、平成 28 年 11 月 28 日、平成 28 年 12 月 19 日、平成 29 年 1 月 30 日、平成 29 年 2 月 27 日、平成 29 年 3 月 27 日

会議内容／事業の推進及び経営上の重要事項等の協議、他

出席者／専務理事、常務理事及び協会幹部職員。

## II. 予防医学事業

### 1 母子保健分野における健診・検査（母子保健）

静岡県、静岡市、浜松市からの委託事業による新生児に対する先天性代謝異常症検査(タンデムマス法)、ガラクトース血症検査、先天性副腎過形成症検査、先天性甲状腺機能低下症検査を実施した。

母子保健 検査実施状況

項目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
先天性代謝異常症検査	30,495	95.2	30,197	99.0	28,951	95.9
ガラクトース血症検査	30,495	95.2	30,197	99.0	28,951	95.9
先天性副腎過形成症検査	30,495	95.2	30,197	99.0	28,951	95.9
先天性甲状腺機能低下症検査	30,495	95.2	30,197	99.0	28,951	95.9

### 2 学校保健分野における健診・検査（学校保健）

#### (1) 腎臓、糖尿病健診

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校等の児童、生徒、学生の全学年を対象に腎臓病健診及び糖尿病健診を実施した。

#### (2) 心臓病健診

小学校、中学校、高等学校の 1 年生を主に心臓病健診を実施した。

#### (3) 貧血検査

小学校、中学校、高等学校及び専門学校、特別支援学校の生徒を対象に貧血検査を実施した。

#### (4) 脊柱側弯症検査

小学校、中学校生徒を対象に脊柱側弯症検査を実施した。

#### (5) 生活習慣病予防健診

小学校高学年、中学校 1 年生及び高等学校 1 年生を主に生活習慣病予防健診を実施した。

#### (6) 寄生虫検査

保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に、寄生虫卵及び蟯虫検査を実施した。

#### (7) 聴力検査、血圧検査

小学校 1・2・3・5 年生、中学校及び高等学校 1・3 年生を主に聴力検査及び血圧検査を実施した。

学校保健 健診・検査実施状況

項目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
腎臓検診	249,143	97.6	250,764	100.7	243,095	96.9
糖尿病検診	249,143	97.6	250,764	100.7	243,095	96.9
心臓病検診	71,917	100.8	70,604	98.2	68,871	97.5
貧血検査	46,135	101.5	45,699	99.1	40,623	88.9
脊柱側弯症検査	9,618	99.7	9,476	98.5	9,149	96.5
生活習慣病予防健診	9,054	99.5	8,716	96.3	9,151	105.0
寄生虫検査（糞便）	27	6.7	24	88.9	0	-
〃（蟯虫）	107,579	92.9	105,586	98.1	32,077	30.4
聴力検査	33,224	98.3	35,450	106.7	36,523	103.0
血圧測定	2,114	89.2	1,190	56.3	1,148	96.5
計	528,811	97.3	527,509	99.8	440,637	83.5

### 3 職域保健分野における健診・検査（職域保健）

(1) 定期健康診断、雇入時健康診断

企業等の従業員に対する労働安全衛生法に基づく定期健康診断及び雇い入れ時に行う雇入時健康診断を実施した。

(2) 特殊健康診断

有機溶剤、鉛、電離放射線、特定化学物質、粉じん等の業務従事者に対する健康診断及び行政指導によるVDT及び重量物等を取り扱う者に対する頸肩腕、腰痛等の健康診断を実施した。

(3) 特定健診・特定保健指導

「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」（厚生労働省）に基づき実施した。

(4) 胃がん検診

X線撮影による胃がん検診を実施した。

(5) 肺がん検診

X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。

(6) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。

(7) 子宮頸がん検診

細胞診による子宮頸がん検診を実施した。

(8) 乳がん検診

超音波、マンモグラフィ及び視触診による乳がん検診を実施した。

(9) 前立腺がん検査

血液検査による前立腺がん検査を実施した。

(10) ストレスチェック検査

問診票（59項目）によるストレスチェック検査を実施した。

(11) その他検査

その他として、寄生虫検査を実施した。

産業医業務として、安全衛生委員会への出席及び職場巡視を実施した。

職域保健 健診・検査実施状況

年 度 項 目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
定 期 健 康 診 断	138,020	105.3	143,232	103.8	146,412	102.2
定期健診(内 特定健診)	(48,448)		(54,114)		(57,72)	
雇 入 時 健 康 診 断	2,370	99.5	2,118	89.4	2,064	97.5
特 殊 健 康 診 断	27,338	109.1	30,457	111.4	35,679	117.1
特定健診(被扶養者対象)	4,169	72.6	4,235	101.6	4,466	105.5
特 定 保 健 指 導	1,438	226.1	1,275	88.7	1,262	99.0
胃 が ん 検 診	21,647	100.5	26,165	120.9	25,550	97.6
肺 が ん 検 診	105,327	107.6	114,743	108.9	115,611	100.8
大 腸 が ん 検 診	44,105	110.6	51,456	116.7	52,552	102.1
子 宮 頸 が ん 検 診	2,912	109.1	3,669	126.0	4,585	125.0
乳 が ん 検 診	3,398	117.1	3,974	117.0	3,982	100.2
前 立 腺 が ん 検 査	1,780	104.2	2,321	130.4	2,583	111.3
ス ト レ ス チ ェ ッ ク 検 査	-	-	262	-	27,676	-
寄 生 虫 検 査	865	83.6	597	69.0	442	74.0
計	353,369	106.3	384,504	108.8	476,355	123.9

※ 定期健診(内 特定健診)は、定期健康診断(労働安全衛生法に基づいた事業所の労働者を対象とした健診)の実施件数の内、特定健診(年度末年齢40歳から74歳を対象)に相当する実施件数です。

#### 4 地域保健分野における健診・検査(地域保健)

##### 1) 住民健診

###### (1) 特定健診

「特定健康診査の実施に関する基準」(厚生労働省)に基づき実施した。

###### (2) 胃がん検診

X線撮影による胃がん検診を実施した。

###### (3) 胃がんリスク検診

血液検査による胃がんリスク検診を実施した。

###### (4) 肺がん検診

X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。

###### (5) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。

###### (6) 子宮頸がん検診

細胞診による子宮頸がん検診を実施した。

###### (7) 乳がん検診

超音波、マンモグラフィ及び視触診による乳がん検診を実施した。

###### (8) 前立腺がん検査

血液検査による前立腺がん検査を実施した。

###### (9) その他検査

骨粗鬆症検査を実施した。

地域保健 健診・検査実施状況

年 度 項 目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
特 定 健 診	5,101	105.3	5,055	99.1	5,436	107.5
胃 が ん 検 診	7,120	100.6	7,175	100.8	6,611	92.1
胃 が ん リ ス ク 検 診	1,327	92.7	1,280	96.5	1,233	96.3
肺 が ん 検 診	15,154	42.6	14,997	99.0	15,919	106.1
大 腸 が ん 検 診	13,066	101.5	13,756	105.3	12,684	92.2
子 宮 頸 が ん 検 診	6,175	100.0	6,539	105.9	6,776	103.6
乳 が ん 検 診	6,909	99.9	6,860	99.3	8,286	120.8
前 立 腺 が ん 検 査	2,810	105.9	2,857	101.7	2,780	97.3
骨 粗 鬆 症 検 査	2,212	110.2	1,935	87.5	1,677	86.7
計	59,874	75.3	60,454	101.0	61,402	101.6

2) 総合健診（人間ドック）

(1) 基本ドック

人間ドック学会、健保連の基準項目に協会独自の項目を追加し、実施した。

(2) 脳ドック

脳 MRI（断層像）・MRA（血管像）と頸部 MRA（血管像）の健診を行った。また、脳ドック A コースでは人間ドックの検査項目に準じた健診を実施した。

(3) 婦人科検診

子宮がんに対し内診、細胞診、乳がんに対してマンモグラフィ等による検診を実施した。

(4) 骨ドック

前腕及び腰の骨密度検査を実施した。

(5) その他の検診

① オプションとして以下の検査を実施した。

〔動脈硬化度測定、寄生虫検査、前立腺がん検査（PSA）、男性・女性腫瘍マーカー検査、甲状腺検査、ピロリ菌検査、胃カメラ、腹部 CT 検査、ヘリカル CT 検査、頸部 IMT、大腸 CT 検査など〕

② 生活習慣病予防健診

③ 定期健康診断

(6) 二次検査

以下の検査を実施した。

〔胃カメラ、注腸検査、心臓超音波、ホルター心電図、血液・尿二次検査、ヘリカル CT など〕

(7) その他

当協会ホームページを利用した人間ドックの予約申込サービスを実施した。

総合健診センター 健診事業実施状況

年 度 項 目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
基 本 ド ッ ク	10,361	104.6	11,000	106.2	11,587	105.3
脳 ド ッ ク ( A )	92	86.8	81	88.0	87	107.4
脳 ド ッ ク ( B )	1,868	108.3	1,745	93.4	1,873	107.3
婦 人 科 検 診	5,196	102.9	6,056	116.6	6,558	108.3
骨 ド ッ ク	652	105.5	634	97.2	580	91.5
特 定 保 健 指 導	187	80.6	146	78.1	132	90.4
そ の 他 の 検 診	2,562	109.2	2,738	106.9	2,991	109.2
二 次 検 査	3,614	96.8	3,305	91.4	2,336	70.7
計	24,532	103.4	25,705	104.8	26,144	101.7

### 3) 諸検査

#### (1) 細菌検査

法により義務付けられている集団給食、食品営業及び水道施設関係従事者に対し、腸内細菌、腸管系病原菌等の検査を実施した。

#### (2) 血清学的検査

B型肝炎抗原抗体検査及びC型肝炎ウイルス検査を実施した。

#### (3) その他

学校生徒の血液（血清鉄、総コレステロール等）の検査及び事業所等からのその他検査を実施した。

#### 諸検査 実施状況

項目	年度	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
		件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
細菌検査		76,043	101.4	63,740	83.8	72,668	114.0
血清学的検査		42,982	104.5	41,049	95.5	37,718	91.9
その他		16,932	116.4	12,159	71.8	10,619	87.3
計		135,957	104.0	116,948	86.0	121,005	103.5

※件数は検査項目数を計上

### 5 健診・検査結果に基づいた保健・栄養・運動指導等の健康づくり支援（保健栄養運動指導）

健康保険組合員、共済組合員等に対し、運動指導、健康講話を実施した。

#### 保健栄養運動指導 実施状況

項目	年度	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
		件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
運動指導		33(0)	8.6(0)	0	0	30(0)	-
健康講話		60(0)	206.9(0)	280(30)	466.6%(-)	239(0)	85.4(-)
保健相談		1,406(842)	100.1(102.4)	1,534(858)	109.1(101.9)	1,375(835)	89.6(97.3)
栄養相談		710(710)	105.7(105.7)	807(807)	113.7(113.7)	861(861)	106.7(106.7)
計		2,209(1,552)	88.8(96.7)	2,621(1,695)	118.7(109.2)	2,505(1,696)	95.6(100.1)

6 広報紙や研修会等による疾病予防、健康増進に関する知識の普及・啓発（健康啓発・健康教育）

予防医学・保健事業の普及を図るため、講演会の開催、広報誌の発行、啓発紙の配布等の事業を実施した。

(1) 講演会の開催

講演会名	開催年月	概要	参加人員
学校保健セミナー	28年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 学校・スポーツ現場におけるケガの応急措置</li> <li>・講師 国際武道大学体育学部・大学院教授 山本 利春</li> <li>・対象 一般県民及び学校養護教諭等</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	166
	28年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 ちょっと気になる子どものからだと心 ～元気のためにできること～</li> <li>・講師 日本体育大学体育学部教授 野井 真吾</li> <li>・対象 一般県民及び学校養護教諭等</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	69
産業保健セミナー	29年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 今時のメンタルヘルス—その現状と対応—</li> <li>・講師 東京メンタルヘルス所長 武藤 清栄</li> <li>・対象 一般県民及び企業等保健衛生担当、</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	220

(2) 広報、啓発資料の配布等

- ① 事業年報 1, 100 部
- ② 広報紙「けんこう静岡」 14, 000 部
- ③ 予防医学ジャーナル 864 部
- ④ 家族と健康 600 部
- ⑤ 業務案内 200 部
- ⑥ インターネット（ホームページ）への情報掲載

7 健診検査データを利用した予防医学に関する調査研究（調査研究事業）

次の調査研究を実施した。

- (1) 健診検査データの活用による調査研究と健康づくりのための情報提供
- (2) 学童尿および学童心電図における統計調査
- (3) がん検診におけるプロセス指標
- (4) 予防医学技術研究会議での調査研究

## 8 その他当協会の目的を達成するために必要な事業（その他目的を達成するために必要な事業）

### （1）機器の整備等

住民・企業健診の新たなニーズ及び現有機器の老朽化等に対応するため、以下の機器等を購入した。

	品 名	金 額（税別、千円）
機器等の整備	医用画像保管装置(PACS)	31,200 千円
	尿自動分析装置	22,570 千円
	胸部 X 線デジタル撮影装置	10,400 千円
	超音波診断装置(施設健診用)	5,800 千円
	超音波診断装置(巡回健診用)	2,800 千円

### （2）職員の資質、検査技術の向上

日本医師会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、日本総合健診医学会等が開催する研修会、研究会、講習会等に積極的に参加し、職員の資質及び検査技術の向上に努めた。また、医療制度改革にともなう諸課題へ対応していくための勉強会を積極的に実施した。

### （3）関係機関との連携等

県健康福祉部、県・市町教育委員会、県・郡市医師会、静岡県結核予防会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、健康教育推進本部等の関係機関との緊密な連携を図り、円滑な事業の推進に努めた。

なお、28年度も県健康福祉部疾病対策課からの依頼を受けて、ハンセン病関連業務を実施した。



## 平成 28 年度 附 属 明 細 書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

## 報告事項 広報紙「けんこう静岡」の発行

### 第125号 平成28年4月1日発行

巻頭「精神医療の課題」

静岡県立こころの医療センター院長 村上 直人

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「社会的時差ボケを解消して 元気な毎日を手に入れよう」
- ・平成28年度から尿自動分析装置による検査がスタート（西部検査所）

### 第126号 平成28年7月1日発行

巻頭「健康長寿日本一に向けたふじのくにの挑戦～地域力を活用した健康なまちづくり～」

静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課長 土屋 厚子

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「夏風邪」
- ・ヘルスポートだより 「ものわすれドック」（その2）
- ・マイクロアレイ血液検査について
- ・健康診断の検査項目について（Vol.1）

### 第127号 平成28年10月1日発行

巻頭「高齢化社会に向けた地域医療構想の取組と健康づくり」

静岡県東部保健所長 雑賀 俊夫

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「よい睡眠で健康・痩せ易いからだに」
- ・ヘルスポートだより 「午後の時間帯に婦人科検診が受けられます」
- ・健康診断の検査項目について（Vol.2）
- ・西部検査所山本毅係長（公社）全国労働衛生団体連合会奨励賞受賞

### 第128号 平成29年1月1日発行

巻頭「新年を迎えて」

理事長 横田 通夫

- ・知事年頭挨拶 静岡県知事 川勝平太
- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「お酒の上手な付き合い方」
- ・ヘルスポートだより 「ものわすれドックがリニューアルしました」
- ・健康診断の検査項目について（Vol.3）
- ・藤枝健診センター古松係長（公財）予防医学事業中央会奨励賞受賞

## 予防医学技術研究会議での調査研究

第 51 回予防医学技術研究会議（広島県）

平成 29 年 2 月 23 日(木) ～ 平成 29 年 2 月 24 日(金)

### 1、乳がん検診視触診中止に対する当協会の取り組み

当協会が実施している A 市の住民健診において、平成 28 年度より乳がん検診での医師による視触診が中止された。乳がんは自分で発見することのできる唯一のがんであり、早期発見・早期治療のためには、月に 1 度の自己触診が重要であると言われている。

乳房を見る・触るという機会は継続すべきであると考え、健診会場にて乳がんの概要や自己触診法についての映像視聴、パンフレットの作成と配布、乳房模型の設置を行った。検証の結果、模型の設置については、普段触れることのない受診者が触れる事が出来たのでよかった（95%）映像視聴については、分かりやすかった（86%）など概ね好評であった。今回の事を踏まえ、自己触診に対する現状や受診者の意識変化、今後の課題について報告した。

### 2、採血確認書と採血履歴連絡票の運用を開始しての考察

当協会での採血について、採血におけるリスクを受診者に事前に理解してもらう目的での確認書、採血を実施する際に把握しておきたい採血履歴連絡票について報告した。確認書については、予防対策をしても発生してしまった合併症という理解を得られるようになったという利点と、採血連絡票については、再度同じトラブルを引き起こすリスクを減少させた効果がみられた。また今後、翼状針の使用や穿刺回数制限等、より安全な採血方法を合わせて検討していく報告をおこなった。